

JP097 富士 (ふじ)

山梨県：富士吉田市、富士河口湖町、鳴沢村、身延町

静岡県：富士宮市、富士市、裾野市、御殿場市、小山町

| | |
|----|----------------------|
| 位置 | N 35° 22′ E 138° 44′ |
| 面積 | 15,000ha |

環境構成【森林】

■富士五湖地方：富士山は、海拔 0～3,776mまで溶岩と火山灰で形成されて比較的新しい山で単独峰である。

高山帯 (2,400m以上) はカラマツーミヤマハンノキ帯でハイマツのない自然林。亜高山帯 (1,800～2,400m) はカラマツ、シラビソ、ダケカンバなどの単独、混合林の自然林 (この地帯は山梨県側、静岡県側、大体同じである)。山地帯 (約 700～1,800m) 山梨県側 (富士五湖または富士北麓地方) は青木ヶ原 (ヒノキ、ツガの自然林)、植林地帯 (カラマツ、シラビソが主体)、二次草原地帯に大別される。

参考：山地帯 天然林約 50%、人工林約 50%

■朝霧高原：富士山西麓から毛無山系に広がる標高約 600m～900mの高原である。名前の通り、霧が多く発生することで知られている。朝霧高原はかつてススキの草原が広がっていたが、草原は年々少なくなり、現在は、農耕地、牧草地、植林地、灌木林、荒地、ゴルフ場、レジャー施設など多様な環境で構成されている。

選定理由

| | |
|----|---|
| A3 | - |
|----|---|

保護指定

サイトの全域 (90%以上) に法的な担保がある

<保護指定の内容>

県指定鳥獣保護区 (本栖、富士山南)、国立公園 (富士箱根伊豆)、都道府県立自然公園、自然環境保全地域、保護林

<その他>

国指定天然記念物富士山原始林及び青木ヶ原樹海

保全への脅威

■富士 富士五湖地域 (山梨県側)

- ・粗大ごみの不法投棄

- ・植林地の管理形態
- ・青木ヶ原などへのエコツアー観光客の増大
- ・スバルライン利用の一般観光客の増加
- ・山頂登山者増加によるゴミ、糞尿処理
- ・山小屋などへの物品運搬用ブルドーザー路、登山道整備による崩壊
- ・野鳥繁殖期のトレイルランニングの開催（忍野村）

■富士 朝霧高原

- ・草原の減少
- ・ごみの不法投棄
- ・管理されていない植林地の増加
- ・ハングライダー、パラライダー、モトクロスなどのレジャー施設の増加
- ・太陽光発電パネルの増加

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
不明
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：無
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化がある
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
悪い（40～70%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：有

保全活動

- ・ 環境管理：
 - 内容：富士山の清掃活動（富士山クラブなど）
 - 山小屋のエコ水洗トイレ化（国、県、地方自治体、山小屋組合）
- ・ 環境教育活動
 - 内容：探鳥会と探鳥地域の美化活動（日本野鳥の会富士山麓支部）
 - 探鳥会（朝霧高原、日本野鳥の会南富士支部）
 - 登山マナーの指導（県、地方自治体、山小屋組合）
- ・ モニタリング調査：実施者（日本野鳥の会南富士支部）
 - 内容：ガンカモ調査、カワウ調査、モニタリングサイト 1000 草原（全て朝霧高原）
- ・ その他
 - 平成 26 年富士山世界文化遺産に指定

見られる鳥

■富士山麓地域

高山帯：夏鳥ホシガラス、ビンズイ、イワヒバリ、アマツバメ、カヤクグリ等

亜高山帯：夏鳥ルリビタキ、ウソ、キクイタダキ、コマドリ等

山地帯：夏鳥コルリ、カッコウ類 冬鳥アトリ、ベニマシコ、レンジャク等（漂鳥としてルリビタキ、ウソ、キクイタダキ等） 草原の鳥コヨシキリ、ノビタキ等

冬の水鳥ホオジロガモ、ミコアイサ、カワアイサ、ヨシガモ等

年間を通じて約110種以上の野鳥が見ることができる。

富士北麓地域では、ハシビロガモが毎年飛来する。

| | |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 留鳥 | カワラヒワ、ホオジロ、シジュウカラ、ヒガラ、コガラ、エナガ、ヤマガラ、コゲラ、アカゲラ、アオゲラ、キジ、ヤマドリ、キジバト、セグロセキレイ、ハクセキレイ、キセキレイ、モズ、ムクドリ、ヒヨドリ、メジロ、カワラヒワ、ゴジュウカラ、オナガ、カケス、ガビチョウ、トビ、ノスリ、オオタカ、コサギ、アオサギ、カワウ、カイツブリ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、フクロウ |
| 夏鳥 | カッコウ、ジュウイチ、ツツドリ、ホトトギス、ヤブサメ、ツバメ、イワツバメ、アマツバメ、コヨシキリ、オオヨシキリ、オオジシギ、サンコウチョウ、ビンズイ、ゴイサギ、ハチクマ、サシバ、コノハズク、オオルリ、コルリ、クロツグミ、アカハラ、トラツグミ、マミジロ、メボソムシクイ、センダイムシクイ、キビタキ、ノジコ、ノビタキ、 |
| 冬鳥 | ベニマシコ、キレンジャク、ヒレンジャク、カシラダカ、ツグミ、シメ、アトリ、マヒワ、ミヤマホオジロ、ジョウビタキ、キンクロハジロ、ホシハジロ、ヒドリガモ、ホオジロガモ、カワアイサ、ミコアイサ、オナガガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、コガモ、オオバン、ミミカイツブリ、カンムリカイツブリ、 |
| 旅鳥 | シマアジ |
| 漂鳥 | ウソ、ルリビタキ、キクイタダキ、ウグイス、セッカ、ミソサザイ、イカル、アオジ、フクロウ、メジロ、カヤクグリ、イワヒバリ、ソウシチョウ |
| 迷鳥 | コハクチョウ |

■朝霧高原

夏鳥：ノビタキ、コヨシキリ、アカハラ、アカモズ、カッコウ、ホトトギス

冬鳥：チュウヒ、ハイイロチュウヒ、コミミズク、ベニマシコ、マヒワ

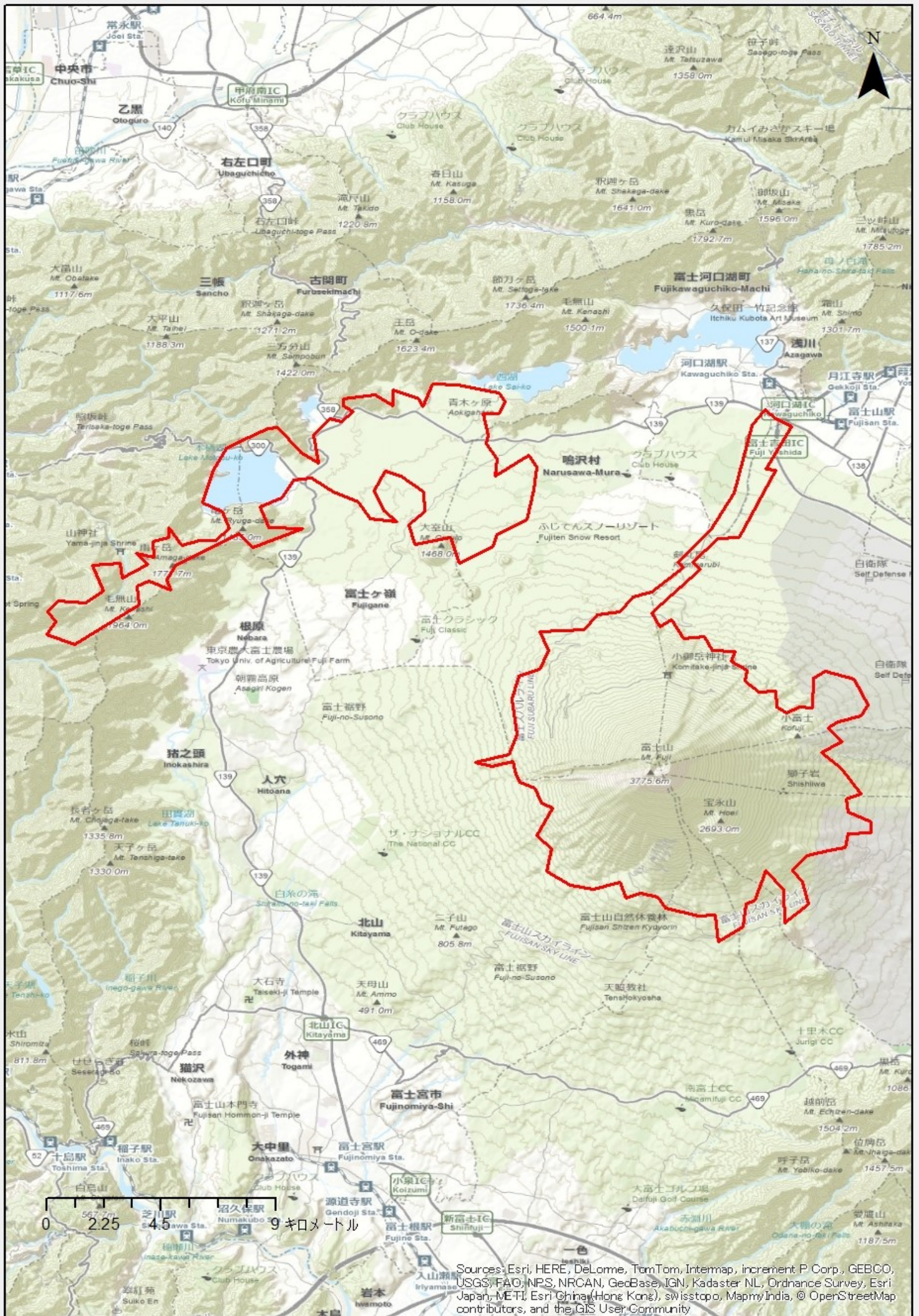
留鳥：ホオジロ、ホオアカ、アオジ、ノスリ

草原性の野鳥が主である。特にノビタキは、朝霧高原が繁殖の南限とされている。年間を通して、100種以上の野鳥が観察されている。

| | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 留鳥 | カワウ、アオサギ、カルガモ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ノスリ、チョウゲンボウ、キジ、フクロウ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヒバリ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、セッカ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ムクドリ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス |
| 夏鳥 | オオジシギ、ジュウイチ、カッコウ、ホトトギス、ツツドリ、ヨタカ、アマツバメ、ツバメ、アカモズ、ノビタキ、マミジロ、クロツグミ、アカハラ、コヨシキリ、オオヨシキリ、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キビタキ、ホオアカ、ノジコ |
| 冬鳥 | オシドリ、マガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、ハイイロチュウヒ、チュウヒ、ハヤブサ、コチョウゲンボウ、タゲリ、コミミズク、タヒバリ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、オオジュリン、アトリ、マヒワ、ハギマシコ、ベニマシコ |
| 旅鳥 | アマサギ、サシバ、ハリオアマツバメ、ヒレンジャク |
| 迷鳥 | クロハゲワシ、ケアシノスリ、ヤツガシラ |

関連団体・自治体・施設等

- ・箱根ビジターセンター
- ・河口湖フィールドセンター
- ・富士山世界遺産センター
- ・田貫湖ふれあい自然塾



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community